

ゆう ☆ さぼ 通信



2023年6月
NO.47

〒610-0117 京都府城陽市枇杷庄島ノ宮20-21
TEL:0774(26)3007 FAX:0774(26)8182
E-mail yusapo@me.com

ホームページ 【ゆうさぼ】で検索！
そらいろブログ QRコードを読み取り→



ほっこりした

自慢話

させて下さい



ガイドヘルパーをしている時、お店の人が親切だったりサラッと気を利かせてくれることがあると、助かりますし、とても嬉しくなります。とあるファーストフード店で、おもちゃの付いたセツトを注文した際、利用者さんも私もおもちゃは選べると思いい込んで指定したのですが、「今回のおもちゃは選べなくて、中身も

分らないままお渡ししているんです」と言われました。利用者さんと私がガツカリしたからなのか、店員さんは何も言わず何個かを持ち、手でサツと袋の上からおもちゃの形を触って確認し、「どうぞ」と笑顔で渡されました。席に戻って開けると、欲しかった物が入っていました。きつと、お店のマニユアル的には駄目なんだと思いますが、私たちはとてもハッピーになりました。こういうラッキーがあると特に、「今日は良いお出かけだったなあ」と良い気分になります。

他には、コミュニティバスでこんなこともありました。利用者さんがグーグーと寝てしまい、声でも揺すっても起きてくれなくて困っていると、運転士さんが「起きやろ〜、着いたよ〜、お家帰るんやろ〜」とマイクで優しくアナウンスしてくれました。無事に起きられて、他のお客さんたちのクスクス笑いに見送らながら

降りました。

時々このようなほっこりする出来事もあり、ヘルパーの仕事は楽しいです。

他には、公園清掃活動をしている時、その場に居合わせた親子が手伝ってくれたことがありました。ゴミ拾いをしていると、そこら中を走り回っていた男の子が、「ここにもあったよ〜！」とゴミ拾いを手伝い始めてくれました。地面を整える作業もしました。ブランコの下は、足で蹴るのでどうしても穴が出来てしまいます。穴埋めをしていると、その男の子の父、妹、母も手伝ってくれ、みんな一緒に手伝ってくれました。前日の雨をすくい、砂場から砂を運び、それを足で踏みならす作業です。みなさん結構ドロドロになってしまいました。最初は私一人だったので、時間も限られていたのでサツと作業して終えるつもりでしたが、「こうした方が良いですよ。やりたいです」と言って、張り切ってやってくれました。「うちのパパって、困っている人を放っておけないんだよね〜。何でも助けるんだよね」と、子どもが笑って教えて



くれました。「またいつかね〜」とお別れしました。

ヘルパー支援以外では、事務作業や事務所の掃除、地域の清掃など、わりと地味な業務が多いのです。この日はとても楽しく清掃活動ができて、達成感もありました。

このゆうさぼ通信の記事を考えるとき、「何か、ほっこりしたエピソードを自慢したい」と思ったのです。今年度は、新しい正職員が加まりました。初めは覚えることがかりで、大変だと思えます。あまり雑談する時間はないのですが、時々はこのようにほっこりした自慢話もしたいなと思っています。
(稲葉)

賛助会員 募集

年会費 1口 2000円

(団体の方は2口以上でお願いします)

【郵便局から振込】

銀行 ゆうちょ銀行

記号 14410

口座番号 17731231

名義 トクヒ)ユウ サポート

【郵便局以外の金融機関からの振込】

店名 四四八

店番 448

預金種目 普通預金

口座番号 1773123

振込をして下さる方は、お手数ですが下記連絡先まで連絡して下さい。お名前・ご住所などを聞かせていただきます。

特定非営利活動法人ゆう・さぼ一と
0774(26)3007
中野裕介



公式YouTube
ゆうさぼチャンネル

通学支援サービスの開始

城陽市の方を対象に通学支援サービスを実施します。移動支援などの公的福祉サービスにて通学支援の利用ができない方に使っていただく有料サービスとなります。

持続可能なサービスにする為、利用料負担をお願いしています。当法人の正会員・賛助会員になって下さった方には利用料負担軽減の対応をさせていただきます。

学校行事や進路実習などで保護者が送迎しなくてはならない日などにご利用下さい。



ゆうさぼ通信 紙面配布の縮小

次号から、広報誌の紙面配布の枚数を減らします。ホームページへの掲載、LINE公式アカウントでの配信などオンラインでの広報に切り替えます。左記QRコードからLINEの友達追加していただき、スマホ等にて『ゆうさぼ通信』をお楽しみ下さい。



LINE公式
アカウント

正会員・賛助会員、そらいる利用者の方には紙面配布を継続させていただきますが、オンライン希望の方はお知らせ下さい。

会員・利用者以外の方や関係機関で紙面配布を希望していただく場合はお知らせ下さい。

支えて下さり ありがとうございます

正会員：12名 33口

賛助会員：9名 11口

(2023年5月31日現在)

【寄贈品】

テーブル (中野様)、菓子 (小松様)

おもちゃ (鈴木様)、ぬいぐるみ (土井様)

(2023年2月1日～2023年5月31日)

はじめまして。4月から新しくそらいるスタッフの仲間になりました河野です。趣味は映画館で映画を見ること、アニメ鑑賞、フィギュア収集です。大学では美術を学んでおり、フィギュアや等身大の人物像などを制作していました。未経験からのスタートとなりますが、精一杯頑張っていきたいと思えます！今後とも、よろしく願います！(河野)

そらいる
スタッフ

Kawano



いと思えます。(中野)

新年度が始まり、2ヶ月が過ぎました。年度替わりのバタバタした空気も落ち着いてきたように思います。今号で紹介させていただいたように、今年度はフレッシュな力が加わりました。採用活動は運命の出会いのような面もあり、こちらが想っている人材に巡り合うまで時間を要します。就職フェア等への出展やインターンシップの受け入れなどを積極的にを行い、人との出会いの場を多く持つようにしてきた結果、良い方に来ていただくことができました。無理なく仕事を続けていただけるよう職場全体でサポートしています。約3年間続いた新型コロナウイルス感染症対策も、転換期を迎えています。感染対策を継続しながら、楽しい活動をサポートできるような工夫を行っていかれば良いかと思っています。今年の夏はマスクなしで思いっきり笑い合えたら良いですね。今年度のテーマはSDGsです。地域の清掃活動や働き方改革など、地域の中で長く活躍できるように力を尽くしたいと思います。(中野)



編集後記

入所施設で暮らす方々へ

ガイドヘルプを届けたい！

私費サービス利用料負担の軽減にお力を下さい

下記の口座から寄付していただくことができます。

【銀行振込】

京都信用金庫 本店(普) 2144120

公益財団法人京都地域創造基金

【郵便振替】

00930-4-312262

京都地域創造基金寄付口座

(通信欄に『ゆう・さぼ一と』と記載)